We create chemistry

News Release

2026 年 11 月 24 日

BASF バッテリーマテリアルズ事業本部、正極材（CAM）に事業ポートフォリオを集中

- **正極材は BASF にとって最も大きな価値創出の可能性を持つ分野**
- **BASF は、バッテリーリサイクル事業を cylib に売却する契約を締結**

BASF（本社：ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン）は、「Winning Ways」戦略に沿って、バッテリーマテリアルズ事業の戦略的発展に向けた次の段階に進みます。同事業のポートフォリオを正極材（CAM）だけに絞ります。BASF は、お客様への価値提供、差別化、収益性の高い事業展開のいずれにおいても、正極材に最も大きな可能性があると考えています。正極材へのポートフォリオ集中は、2024 年に始めた戦略の見直しをさらに進めるものです。この見直しは、世界の電気自動車（EV）市場とバッテリー市場の環境変化を受けて始めました。BASF バッテリーマテリアルズ事業本部はそれ以降、投資計画の調整を行いながら競争力の強化を進め、重要な顧客契約を獲得してきました。あわせて、今後のポートフォリオに含まれない事業について、戦略的パートナーシップの選択肢の検討を始めています。

BASF SE 取締役会メンバーのアヌープ・コタリは、次のように述べています。「BASF バッテリーマテリアルズは、長期的に魅力的な成長市場で事業を展開する一方、この市場は大きな市場リスクおよび技術リスクを伴うという特徴もあります。今回の事業の戦略的発展に向けた次のステップは、「Winning Ways」の戦略的な目標を反映したものです。これは、BASF バッテリーマテリアルズのようなスタンドアローン事業が、それぞれの市場で競争力を発揮し、その価値を最大化できるようにすることです。」

Corporate Media Relations
Daniela Rechenberger
Phone: +49 621 60-41040
daniela.rechenberger@basf.com

Media Relations Battery Materials
Sarah Katharina Müller
Phone: +49 173 3099741
sarah-katharina.mueller@basf.com

BASF SE
67056 Ludwigshafen
www.basf.com
presse.kontakt@basf.com

BASF、バッテリーリサイクル事業を cylib に売却する契約を締結

BASF は、正極材に戦略的に集中する取り組みの一環として、バッテリーリサイクル事業の売却を決定しました。2026 年 11 月 20 日、BASF と cylib は、cylib が BASF のバッテリーリサイクル事業を買収する契約に署名しました。本取引の目的は、同事業をより大きな事業規模、補完的な能力、リサイクル・バリューチェーン全体でのより緊密な統合を活かせる環境に移すことです。

本取引の対象は、欧州と北米における BASF のバッテリーリサイクル事業です。知的財産、顧客契約、パートナーとの関係に加え、ドイツ・シュヴァルツハイデのブラックマス製造工場とバッテリーリサイクルのプロトタイププラントが含まれます。既存の顧客やパートナーとの関係は継続されます。取引完了までは、引き続き BASF が同事業の運営と関連するコミュニケーションを担当します。

BASF バッテリーマテリアルズ事業本部プレジデントのダニエル・シェーンフェルダーは、次のように述べています。「この数年間で、当社のリサイクルチームは競争力のある能力と産業設備を築き、お客様やパートナーとの貴重な関係も構築してきました。cylib のもとで、同事業はこの強固な基盤をさらに発展させることができます。また、cylib の専門的なリサイクル技術、拡大を続ける産業規模、そしてバッテリーの処理から有価原材料の回収までを一貫して行うアプローチを活かすことができます。本取引は、リサイクル事業の今後の発展に向けた強固な基盤となります。さらに、cylib とのパートナーシップのもとで業界の未来をともに形づくっていくことを楽しみにしています。」

cylib の共同 CEO 兼共同創業者である Dr. Gideon Schwich 氏は、次のように述べています。「BASF のバッテリーリサイクル事業の買収により、当社は欧州市場での役割をさらに拡大します。リサイクルは cylib の中核事業です。シュヴァルツハイデが加わることで、使用済みバッテリーをブラックマスに処理する拠点が欧州でもう 1 カ所増え、当社のネットワークが広がります。同事業のチームは長年の経験と幅広いノウハウを持っています。このチームとともに、当社の技術と、使用済みバッテリーから原材料までのリサイクル・バリューチェーンをさらに強化していきます。これにより、リチウム、ニッケル、コバルトなどの重要な原材料を回収し、欧州の供給安定性を強化できるようになります。」

本取引は、関係当局の承認と通常の取引完了条件を満たすことを前提に、2027 年第 2 四半期から第 3 四半期の間に完了する見込みです。取引の財務条件については、両社

の合意により開示していません。

BASF、バトルクリークとハルヤヴァルタの拠点について戦略的選択肢を検討

BASF バッテリーマテリアルズ事業本部は、米国ミシガン州バトルクリークの生産拠点と、フィンランド・ハルヤヴァルタの正極材前駆体（PCAM）拠点についても、戦略的な選択肢を検討しています。両拠点は現在、稼働を休止しています。BASF は、各拠点にある設備と能力を活かせる適切なパートナーを探しています。

ダニエル・シェーンフェルダーは最後に次のように述べています。「正極材は、バッテリーの性能、安全性、コスト、サステナビリティを大きく左右する差別化要因です。正極材は、BASF の先進的な化学・技術の専門性がお客様に最も大きな価値をもたらす分野です。今後はこの分野にポートフォリオとリソースを集中させていきます。近年、当社は重要な長期顧客契約を確保し、コストと設備投資を削減してきました。今後は、グローバルな生産・研究開発拠点網、お客様ごとの製品開発、ニッケル系正極材の専門知識を基盤に事業を進めていきます。」

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF バッテリーマテリアルズ事業本部について
BASF のバッテリーマテリアルズ事業本部は、リチウムイオン電池向けの先進的な正極材（CAM）のグローバルリーダーです。世界有数のセルメーカーや OEM プラットフォームに、それぞれのニーズに応じた高性能な正極ソリューションを提供しています。業界をリードする研究開発基盤とイノベーションへの情熱を活かして、お客様の成功を支える独自のソリューションを開発し、電動化社会への移行を後押ししています。主要地域に展開する生産・研究開発拠点を通じて、高品質な材料の安定供給と、パートナーへの地域に根ざしたサポートを実現しています。これにより、世界中のお客様に、より的確なサービスを提供しています。詳細は、https://www.battery-materials.basf.com をご覧ください。

■BASF について
BASF（ビーエーエスエフ）は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追求しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 95,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント（ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション＆ケア）、スタンドアローン事業の事業セグメント（サーフェステクノロジー、アグロソリューション）から成ります。2025 年の BASF の売上高は約 600 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所（BAS）に上場しているほか、米国預託証券（BASFY）として取引されています。BASF の詳しい情報は https://www.basf.com/global/en.html をご覧ください。